

記録・アーカイブする意味

—現在の民主主義を問う—

2019年 **5月19日** (日)

午後**2時30分**～**4時30分** (開室2:15)

講師：^{せ ば た}**瀬 畑** ^{は じ め}**源 さん**
(日本近現代史研究者)



“市民活動の記録と記憶の拠点”として2014年4月に「市民アーカイブ多摩」は開館しました。

この間の収集・整理・保存、そして開館業務を通して、市民活動資料が小さなメディアとして発信する内容に魅了されると同時に、その時々思いや経過を「記録する」ということが、いかに重要なことなのか、も実感してきました。

5周年記念講演会は、「記録」し、「アーカイブ」する意味を考えます。

民主主義社会において、それぞれの異なる思いや経験がある中で、どのように話し合い、ものごと(特に制度)が決まっていくのか。それらをどう記録し、広く共有財産にし、そしてつかわないといけないのか—。

講師には、公文書を豊富に「つかう」経験があり、情報公開法や公文書管理等の制度を巡る問題に詳しい瀬畑源さんをお招きします。

皆さまのご参加、お待ちしております。

申込み不要。
当日会場へ
お越しください。
参加費
500円
(会員無料)

会場：**たましん RISURU ホール** (立川市市民会館)

5階 第1会議室

(立川駅南口 徒歩12分・西国立駅 徒歩8分) 裏面に地図

主催・問合せ先：**ネットワーク・市民アーカイブ**

tel: **042-540-1663**

E-mail: simin-siryoo@nifty.com <http://www.c-archive.jp/>

瀬畑 源 (せばた・はじめ) さん

◇プロフィール:

1976年東京生まれ。一橋大学非常勤講師。一橋大学博士(社会学)。
専門は日本近現代政治史(特に象徴天皇制の形成過程)、公文書管理制度。

◇主な著書:

『公文書問題:日本の「闇」の核心』集英社、2018年

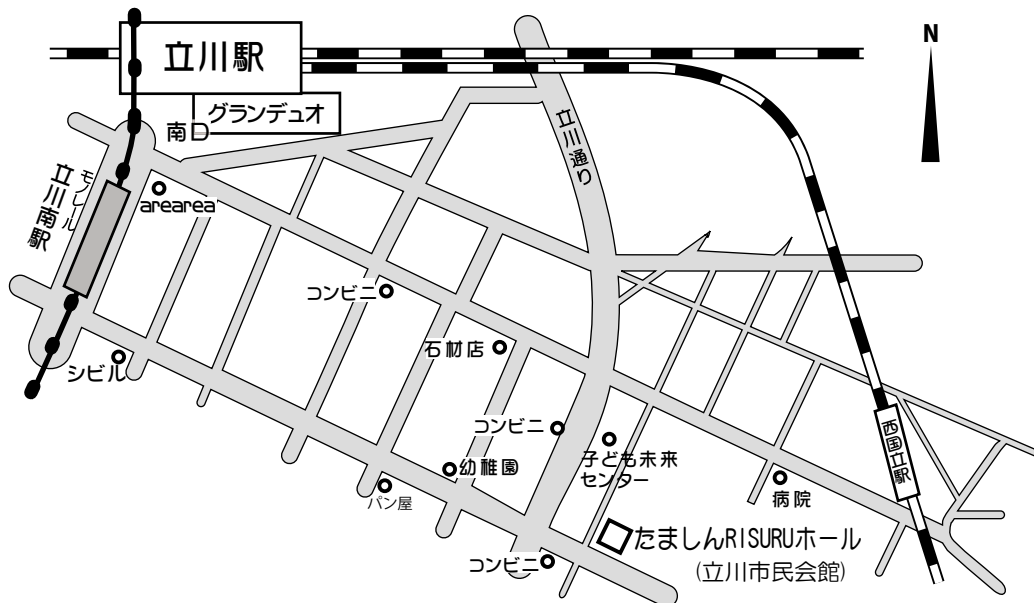
『歴史学が問う 公文書の管理と情報公開』共著、大月書店、2015年

『国家と秘密:隠される公文書』共著、集英社、2014年

『平成の天皇制とは何か』編著、岩波書店、2017年

『公文書をつかう:公文書管理制度と歴史研究』青弓社、2011年 他

会場案内図



たましん RISURU ホール
(立川市市民会館)
立川市錦町 3-3-20
TEL : 042-526-1311

アクセス:

- ・南武線 西国立駅より徒歩 8 分。
- ・立川駅南口より徒歩 13 分
- ・多摩モノレール立川南駅より徒歩 12 分。